

2015
年度

研究成果報告会

～プログラム～

●開会 11:00

共同研究発表① 11:10～15:10 (途中、昼食休憩有)

震災セッション

- O1 活性化する贈与経済—被災地にみる復興ビジネスと新たなコミュニティ：山口 睦
- O2 被災地における宗教間、宗教内関係の変動：木村敏明
- O3 震災復興のための地中レーダによる遺跡探査推進—地中レーダによる自然災害被災者捜索活動—：高橋一徳・佐藤源之
- O4 電磁計測技術を応用した台湾南部の津波痕跡調査：中村 衛、中生勝美、佐藤源之、How-Wei Chen、祖慶真也

環境セッション

- O5 自然と人為の複合史としての淡水貝類多様性：千葉 聡
- O6 PM2.5を中心とした東アジアにおける越境大気汚染に対処するための外交戦略に関する研究—専門家集団に着目して：岡本哲明・石井 敦
- O7 中国における石炭消費および温室効果ガス排出の動向：明日香壽川

言語文化セッション

- O8 モンゴル語の畳語表現の構造と機能：栗林 均・阿茹汗
- O9 モンゴルの聖書翻訳をめぐる学際的研究—東北アジア宗教文化交流史の文脈から：滝澤克彦

個人発表 (ポスター) 15:20～15:40

- P01 蔵王火山の過去 100 年の活動と現状：後藤章夫
- P02 西シベリアの河口域生態系における寄生虫の食物網への組込：鹿野秀一 (東北大・東北アジア)、金谷 弦 (国立環境研)、浦部美佐子 (滋賀県立大・環境) Yurlova Natalia, Rastyazhniko Natalia (ISEA, SB RAS)
- P03 歴史資料保全活動における成果の社会共有—宮城県川崎町佐藤仁右衛門家文書を事例に—：高橋陽一
- P04 各種アンテナによる地雷検知実験：飯塚 泰
- P05 Hydrological Survey in Mongolia using Ground Penetrating Radar：コヤマ クリスティアン

共同研究発表② 15:50～17:50

歴史文化セッション

- O10 建陽刊本にある「萬曆新歳」刊記について：磯部 彰
- O11 北元末期モンゴルの継承レジームとしての清朝の外藩統治に関する—考察：岡 洋樹
- O12 東北アジアにおける戦後秩序の形成：寺山恭輔
- O13 内陸アジアの域内流通：モンゴルの贈与と住居相続を中心に：風戸真理
- O14 伝統的モンゴル語辞典の電子化利用について：栗林 均
- O15 東北アジアにおける歴史的共生をめぐる：岡 洋樹

●開会 17:50

日時：2016年3月9日(水) 11:00～17:50

会場：東北大学川内北キャンパス マルチメディア教育研究棟6階大ホール